

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和49年1月10日 第10号・印刷 有限会社 板野印刷



新春を迎えると共に
極めて多難な年である
ことを痛感いたします
昨年来インフレの波

は海外の影響も受けて加速化し、とくに石油
事情からの品不足、物価の上昇は異常であり
今後経済不況が予測されます。

農業では生産資材の急騰と共に確保が懸念
されており、目下農業団体挙げて対策に当つ
ていますが、現状では、それぞれ節減を迫ら
れる状態です。また金融引締めも最近農業に
までおよんでおり、したがつてことは大変
ご苦労が多いと思いますが、苦境に耐え抜く
体制が今から必要と存じます。

乳価の改訂要求は不満足ながらキロ三円が
決定（国十五億一十一月から三月迄、メーク
一三億及至六億要請中一九月から十月迄）
ただし、乳牛確保奨励金として乳量に比例
配分されます。しかしながら国の財源支出
が遅れるため、ホクレンが国の分の八割を立
替払することにきまり、十二月下旬に組勘へ
振込みました。またこのときの運動で乳価
の算定方式の改正を国も認めましたが、四十
九年度の乳価要求はこれらの改訂（とくに労
働費の換算並びに副産物の取扱いの変更）を
中心に運動の体制に入ります。

澱粉工場は種薯の増加と減収もあり二十四
万七千俵に終わりました。幸い価格の上昇は
ありますが、一部損失分担が生ずるので詳細
は何れご報告し協議いたしたい。ことしは最
も困難な試練に耐えて新しい道を求める年で
あろうと存じます。何卒健康に留意され、切
にご健斗をお祈りいたします。

謹賀新年

昭和49年元旦



年頭にあたつて

中標津農業協同組合

組合長理事 呉 玉 光 彦

明けましておめでとうございま

改定要求運動の結果としても緊急

今年は、石油情勢の緩和もいくら

か予想されますが、國からも加えられるので、三月の改定期を目

か新し

考え方が、國からも加えられるので、三月の改定期を目

か新し

組合員の皆様とご家族の方々に

が、本年の三月まで、代議士・農

林省とも、算定方式は現行のま

でなく、改正にとりくむ態度を表

明する段階になったことは、組合員の皆様の運動の大きな成果であ

化が激しい年ともなります。が、本年も、世界・国内の情勢の変

昨年を顧りますと、乳価交渉の段階におきまして三月の保証乳価の決定にしましても、ご承知の

組合員皆様の一層の頑張りを期待

すると共に、積極的なご協力を、

よう僅かしか値上がりせず、乳価

を得るよう運動を集中し、全力を

石油不足、生産資材、飼料の高

上げなければなりません。

年頭に当りまして、組合員各位

お願い申し上げます。

新年を迎えるにあたつて

中標津町農業共済組合

組合長理事 水沼 孝次郎

低乳価に個体肉価格の低落、其

れに反して諸物価飼料資材の高騰

加えて昨秋から突如襲来した石油

不足によるエネルギー危機と物不足。激動に満ちた苦難の年も漸く過ぎて輝かしい新年を迎えました

と御家族の御健勝と御多幸を心よ

ります。

ことを心から御慶び申し上げます。

よるインフレは當面続く事を覚悟

石油不足によるエネルギー危機は決して去った訳でもなく物不足によるインフレは當面続く事を覚悟

せねばならず、之等の厳しい経済状勢に対処して今後酪農を如何に

守り育てるかと云うことが我々酪農民に課せられた大きな使命と云えましょう。之の重要な課題解決の為……

第一に自給度の向上による経費の節減

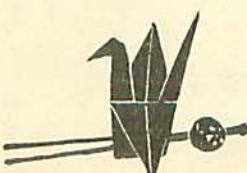
第二に育成管理技術の向上と空胎防止による生産性の向上

第三に病傷事故による個体損耗

の問題を徹底的に追求して来るべき経済危機を突破し眞の酪農

酪農郷実現に直進致し度い所存であります。

其の意味からも本年の家畜共済事業の推進方策として、共済事業





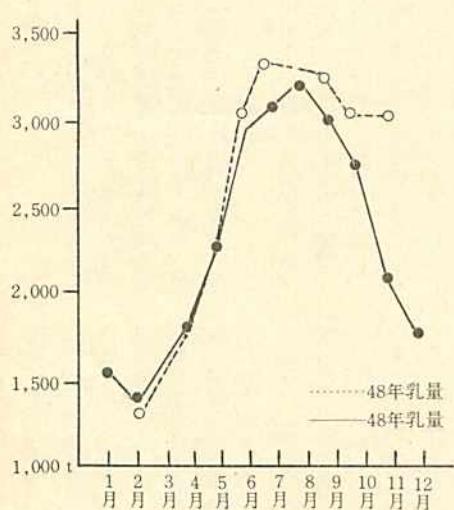
中標津共済で開かれた連絡員・調査員の研修会

共済連絡員 調査員 の 研修会開く

中標津共済組合

中標津町農業共済組合の連絡員と調査員による研修会が、去る十一月二十一日、二十二日、それぞれ根別公民館、中標津共済研修室を会場に開かれた。

これは、共済制度の内容や、そのしくみ、また連絡員や調査員の役割などを具体的に研修したわけである。講師に農共連根飼出張所長の飯島男氏を招いて行なつた。



四十八年の乳量の生産量は別表のよう、一月分から十一月分で二万六千九百七十六トンとなり、前年対比で一〇四・七%となり、農計画上では千トン程下回る。

乳代金では、クミカン取引で補給金と合せてほぼ一〇〇%で、十四億一千六百六十五万八千円となつた。(48・12・20現在)

きな自信としてほしい。

四十八年の十一月分迄

乳質改善でも、十月分を例にとると、九十五・七%といちじるし前年対比で一〇四・七%となり、農計画上では千トン程下回る。

乳質改善の先進地帯に追いつき、追い越す時期が到来し、衛生法が必要となる日までの努力を続けてほしい。

乳量の生産と乳代金

トン

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
45年乳量	1,169	981	1,081	1,252	1,643	2,291	2,441	2,544	2,446	2,368	1,864	1,556	21,636
46年乳量	1,407	1,179	1,355	1,623	1,883	2,559	2,820	2,896	2,776	2,628	2,037	1,753	25,277
前年比	120	120	125	129	114	113	115	113	113	111	109	113	117
47年乳量	1,555	1,335	1,534	1,849	2,252	2,948	3,107	3,238	3,021	2,806	2,132	1,780	27,555
前年比	111	113	113	114	120	115	110	112	109	107	105	102	109
48年乳量	1,581	1,308	1,522	1,838	2,318	3,168	3,367	3,359	3,218	2,999	2,999		1~11月で26,976
前年比	102	98	99	99	103	107	108	104	107	107	108		104.7%
根室管内前年比	103.9	99.9	104.9	104.9	104.8	108.3	108.4	103.9	105.0	106.7	108.5		

宮農の環境は変る

組合相談室長 三浦準治

組合員の皆さん新年明けましておめでとうございます。

例年なら景気の良い事をいつて新しい年に夢を託し、一層の発展を願うのが恒例と思いますが、そんな景気の良い事をいうと今年は空乏しくてむなしさだけが残るよう、調子の良い事は書けない気持で一杯です。

昨年以来の石油情勢の悪化はまだ続くでしょうし、それに伴う物不足値上りなど、あらゆる面に影響することは明らかである。この先どうなるのかいろいろな批判意見は聞かれるが誰一人としてつまきりいってくれる人はいない

し、またわかっている人もいないだろう。

最後は石油次第で決まるという所に落ちく。

勿論農業をとりまく環境も大きく変ることはたしかであろうが、しかしどこがどのようになるか具体的に示せといわれますと、甚だ自信がないし、いったとしてもあたりない面も沢山あるでしょう。しかし予測は出来るし、それに基いて今後対処すべき心構えだけでも持ちたいものである。

物価の値上げ抑制策として、昨年の暮に総需要を抑へる方策が打

出されました。当然国の予算を公

行われた年は過去にないわけで、加速度のスピードを持って走つて来た。現在の速度を今ここで急ブレーキによりスローダウンします

と、いろいろな面で障害のできることは明らかで、今後これにどう対応するかが一番大事な課題となるでしょう。

過熱状態で走り続けることは長

続きするわけがなく、オーバーヒ

ートにより短時間で参つてしまつ

共事業を中心に、いまだかつてない低い伸び率で決定されたが、中大型プロジェクトは大ナタが振るわれた。それに加え設備投資に使われる資金の貸出し規制、貸出し時期の凍結などが予想されます

勿論公定歩合の引上げに伴う、金利の引上げも当然出てくることは間違ひありません。

昨年ほど農家の設備投資の多く

は肥料、飼料、種子、建築資材など、どれを見ても生産資材を

中心にすべて値上がりと不足ムード

で一杯である。

勿論乳価の大巾値上げを期待す

るのは論を待たないが、あらゆる

面で經營を圧迫することが明らかである。これらに耐えることの苦難のスタートの年でもある。

年の始めでもあるし、あまり暗いことは書きたくないが、どうし

ても払いのけることが出来ない心構えである。

百米競走のよつ短距離の耐乏

であつてほしいことは誰しも願うところであろう。しかし私は簡単

に済むとは思わない。

マラソンのようなスピードの遅

い耐久力の必要な大変なスタート

である。完走には今まで以上に努力が必要でしょう。

幸い今までに相当の設備が終

わり、近代化への骨格はかなり進

んでいると思うので、いかに合理

的で効率の高い農業の展開がなさ

れるかが、今後に残された課題と見たい。

ゴールなき酪農といわれるが、

いつかはきっとゴールに到達する

し、輝やかしい未来のあることを信じたい。

嘗農の計画も今月が樹立の月で

あるが、農業を取りまく環境の変化を充分認識し無理のない計画を

樹ててほしいものと思う。こんな

年でもあるので、何かと組合員の

皆さんには、御不便をかけること

もあるかと存じますが、懸命の努

力を惜しまず頑張りますので、よろしくご指導をお願いします。

ことは明らかである。

今年の予想をして見ますと、農

機具、肥料、飼料、種子、建築資

材など、どれを見ても生産資材を

中心にすべて値上がりと不足ムード

で一杯である。

勿論乳価の大巾値上げを期待す

るのは論を待たないが、あらゆる

面で經營を圧迫することが明らかである。これらに耐えることの苦難のスタートの年でもある。

年の始めでもあるし、あまり暗いことは書きたくないが、どうし

ても払いのけることが出来ない心構えである。

百米競走のよつ短距離の耐乏

であつてほしいことは誰しも願う

ところであろう。しかし私は簡単

に済むとは思わない。

マラソンのようなスピードの遅

い耐久力の必要な大変なスタート

である。完走には今まで以上に

努力が必要でしょう。

幸い今までに相当の設備が終

わり、近代化への骨格はかなり進

んでいると思うので、いかに合理

的で効率の高い農業の展開がなさ

れるかが、今後に残された課題と見たい。

昭和48年度 除雪センター長名 と業者名

		地区	氏名	電話					
開陽	開陽	俵橋	久本一雄	二一五二〇九					
高平幸太郎	玉沢正春	吉田徳次郎	秋山実太	晴久	二一八三〇八				
二一六三二六	二一六四六三	二一五六七	二一六二三二	二一五二九二	上田組(町)	"	"	"	
北川	玉沢	大島商会	生産連	二一三二六四	上田組(町)	"	"	"	
二一三四四〇	二一六三四一	武佐新	俣落	第二俣落	豊岡協和	林仁一郎	二一八三〇二	二一三一八五	地区
中標津農協	土井上友一	田代昭	服部一好	佐伯恵次	鈴木吉三	佐藤末美	二一八一七八	"	氏名
二一三一七五	二一六二七七	農協	小山田	生産連	町	久保重機	二一三一四一	"	電話
二一三二七五	二一三二七五			二一三二六四		鉄根運輸	二一三一四一		業者名

④回目

やってみたい魚の養殖

老いて
ますます

若い人達にほしい
あたかい人間味

当 帆 奥 田 繁 氏



今月は元組合長（昭38～44年）

の奥田繁氏（72）にお話しを伺いました。第一線から身を引いて立場であるからあまり話しありませんよ」という断りがあつた後、

取材に入りました。

組合員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

私は現在、家庭環境の良さと、健康にも幸い恵まれまして非常に満足な日々をおくております。

組合長在任中は各先輩の暖か

いご指導と、役職員の方々のご協力によりまして、農協の発展をみることができました。

今は第一線から退いているのですから、農業について語ることは遠慮をしたい。

昨年は、お寺の建立に身をいれましたのでその経過を振りかえつてみますと、立派な方々が檀家や

総代におられることがありましてお寺が完成しました。所有してい

た資産処分に加えて、寄付金によ

つて資金が調達されましたが、人々の尊い心にもふることができました。明治生れの人間として感

じるのは、このあたかい人達の

気持ちに接した時、言葉に表現できぬほどの喜びを感じます。

病院に診察を受けに行くこと

もあり、その時、各世代の人達

には殺伐としたものを感じさせられます。

これから社会ということを

思うと、どんなもんでしょうかね。

私は家族のみんなに、とても

氣をつかつてもらい恵まれ過ぎ

ているせいもありますが……

これからは、ばあさんと二人

でのんびり魚の養殖でもしてと

考えたりしていますが、簡単に

実行に移せないのが本音です。

昔、自分の土地以外によそ

開拓も家内と一緒にしたもので

すが、そんな昔話をばあさん

とのこころよくします。

百五十間の荒地を家内に馴者

をさせ、人馬一体となつてマツ

スケ耕起できた時の満足感など

今はもう味えないです。

老境といふことなんでしよう

が、若い時に思う存分仕事をや

れた充実感はもう味えないです

ようなあ……

年頭所感

購買部長 清原清

昔から、実は千里行って千里帰

ると言つて縁起の良いものとして

きたようである。愈々厳しさを増す石油危機による産業、工業、及

国民生活に及ぼす影響は計り知れ

ないものがあると言われるが、農

業経営、そして農協運営にどのような影響をもたらすか、識者も容

易に予測を下せないと言うのが本

音のようである。

それだけに、本年度の購買事業

計画は難かしく、特に生産資材の

確保については、情報を先き取り

し、万善の手は打つてあるもの

、正直言つて入荷して見なければ

わからぬと言う状態であり、

つい先き頃迄の消費者は神様です

と言つた流行語も、一変してメー

カーは神様です。或は買手市場も

包装資材の不足から配合飼料メ

ーカーでは紙袋の確保に大変苦労

をしており、その対策として空袋

の回収をすることになりましたので次の要領でご協力下さい。

宣敷く頼みます一手あるのみ。
又生活店舗にしても、地域の消

費者の方々からは、物価上昇の抑
制的的な役割も果して居るとの評
価もいただき、売上は愈々順調で

あり、大きく伸びて居り大変喜ば

しい限りであるが、物によつては

後補充（仕入）が可成「きゆうく

」になって居り、石油危機の影
響は生活資材の面にも次第にあら

われ始めた。つい先き頃迄の消

費は美德と「あおられ」乍ら、一

度して節約は美德と強いられて

仲々難かしいのではなかろうか。

いずれにしても本年は生産資材

生活資材とともに大巾幅上は必至であ

り、しかも可成窮屈になるであろう

うが昔から寅の千里行つて千里帰

つて来る縁起の良い年にあやかっ

て、何んとか世直し（インフレよ、
さようなら）政治を心から乞い願

いながらの寅正月である。

配合飼料の紙袋回収に協力を!!

二、ミシン糸をほどいて使用し

たもの。

三、破れ、汚れのないもの

四、回収単価、一袋一円

以上の要領で農協倉庫係迄ご持
参下さい。

協農報はつかりいどうより



保証乳価算定

方式改正の本道意見

道農協酪農対策
本部は、かねてから保証乳価算定方式の改正について、本道の意見を反映するための検討を行っていたが、本年二月までを目途に、全中と連携し、強力な特別運動に入った。

保証乳価算定方式の改正に関する本道意見の要約は次のとおりで、昨年十二月十四日、中央会理事会にも報告、現行算式の矛盾解消に万全を期する方針である。

○基本的な前提事項 ①酪農に対する基本的な理念を確立し、その上で算定方式の改正に着手すること（牛乳乳製品国内自給率九二%以上として公表すること）②加工原料乳の生産目標を明示し、生乳の一物一価原則を確立すること（牛乳乳製品国内自給率九二%以上として公表すること）③算定方式の改正による巨額な財政投融資を死に金にしない

肥料費、農具費の計算を改善し、

ような政治的判断により、乳価水準を大幅に引き上げることが必要)

◇共通的な改正事項 ①算定方式は、年次ごとに目標とする農業所得を確保するものであること。②子牛の保育育成、老廃牛の肥育などは、搾乳経済と別個のものとすること③生産費所得補償方式を確立し、新たに飲用向乳価との均衡、乳製品自給度維持系数を導入改善すること④算定基礎資料の収集、調査方法を酪農民が納得するよう改善すること⑤経営合理化メリット酪農民に還元する算式を導入すること。

○項目別の改正事項 ①家族労働賃金の評価換えは、すべて全国五人以上の製造業労賃とし、新たに資材購入労働および經營管理労働に対する評価を行うこと②建物構築物、農機等の償却は、税法に準じて改正すること③乳牛償却費は、取得価格の全額を物価修正し残存価格は二〇%とすること④流通養費はすでに値上がりの見通しのあるものは、その要素を全額算入すること⑤飼料作物費のうち

その他の費目について物価修正を行うこと⑥副産物中の子牛については、別個の計算として除外することとし、きゅう肥については本来、経済余剰の生ずるものではないよう算定すること⑦地代の計算について土地の評価は、地価高騰の要因を取り入れ、購入地とそれ以外とに区分して、それぞれ適正に算出すること⑧資本利子は、資本額と借り入れ割合を実態に即して引き上げ、最近の基準金利により算出するとともに、流動資本の回転率を引き上げること。

以上は本道意見の要約で、要求運動に当たっては、細目について改善事項を明示、本道の意見を見定方式の改正に反映するため、農林省、政府機関および与野党国会議員に要請運動を展開する一方、農林省酪農経営実態調査等の対応策研究会開催など、適正乳価の試算対策に万全を期すことにして

北海道緊急乳牛破保奨励事業

による前渡金の振込みについて

配合飼料等の値上りによる乳価改定要求の中、国は十一月から三月の加工原料乳に対して、キログラム当たり三円相当の予算、付けを決定しましたが、この奨励金は畜産振興事業団資金から支出されるため、支払いは六月頃となる見込みなので、緊急乳牛確保奨励の意味から、これを六月分乳代の一部前渡金として、十二月末をもって生乳生産者に振込みになりました。

尚配分の基準は、四十八年九月から十一月迄の三ヶ月間の出荷生乳、一等乳量に対しきilogラム当たり三円の割で、タミカン等に振込みました。この奨励金の内容については、十一月十五日付の北海道酪農協会通信をごらん下さい。

生乳生産奨励金の振込みについて!!

地域振興対策金として、大手乳業に要求して

いたものが決定し、昭和四十八年四月から九月迄の二等乳に対し、キログラム当たり六十五銭の割で、各農協に配分になりましたが、この対策金の使い道としては、地域の酪農振興又は農協営農指導の奨励という意味で、乳質改善奨励金同様、各婦人部員の普通口座（婦人部員のない方は一般普通口座）に十二月十九日付で振込みました。

尚奨励金の算出方法は各組合員の四月から九月迄の乳代にスライドして、算出しております。

おしゃせ



元組合長 児玉由一氏 勲二等瑞宝章を受賞

過十一月の叙勲で勲二等瑞宝章を受賞されたことは、すでに組合員の皆様もご承知のことと

昭和九年四月に当時の標準村



植民地産業組合常務理事に就任以来農業発展に尽され、中標準農協組合長を昭和二十三年四月から三十五年まで勤められました。

現在は雪印乳業株式会社取締役

叙勲祝賀会で児玉氏は「皆さ

らの協力によって受賞できました。この勲章は、一人私個人のものではなく、良き先輩、同志のご指導とご協力によって仕事をすることができたのであります。

今後益々酪農業の発展を望み、この私達の故郷が榮えることを祈ります」とあいさつをし、出席者のみなさんの祝福をうけ、感無量の表情でした。

展望

石油情勢と 生産資材の見通し

牛年は飼料の大幅値上げで異常な物価上昇に、降つて湧いたような石油危機は更にこれに追いつきをかけ、悪性インフレの様相をいよいよ深くし、農業經營にとつて生産資材の大幅値上と品不足は避けられず、多難な新年となりそうである。

このような中につけて、今後の見通しは全く難しく、四十九年度の營農計画も樹てにくいと考えますので、参考迄におおまかな情勢をお伝えします。

一、石油情勢

石油情勢については全く見通しはつかないといふのが現状であり、一ヶ月にかけて更に厳しい削減が行なわれるであろうというのが常識であり、一段と制限給油が強められるときには、価格の大幅引上げは避けられないものと予想されます。

殊に経済の削減は著しく集乳用あるいは除雪用の経油等の手配は困難であり、行政的な面からの解決が急がれています。

尚皆さんにとって最大の関心事である四月からの農業用免税経油であるが、第一次産業の農漁業に対する経油については、他に優先供給すると政府は度々公約しているものの今後大きく情勢が好転しない限り、四十八年度実績の何%減と言う事になるのではなかろうか。

尚皆さんにとって最大の関心事である四月からの農業用免税経油については、他に優先供給すると政府は度々公約しているものの今後大きく情勢が好転しない限り、四十八年度実績の何%減と言う事になるのではなかろうか。

六、配合飼料

配合飼料の情勢も原料の九〇%以上を海外に依存している関係上、石油事情悪化の影響を真正面に受け、原料産地国は豊作でありながらも、世界的インフレで原料は高騰を続け、船運賃もまた前年同期に比べ八倍九月～十一月で約三倍になるとい。

う情勢から当然価格問題と合せ制限供給等という事も充分予想される。

二、肥料

肥料については、先づ数量的には、全農、ホクレンにおいて前年度実績位は確保されるであろうが、価格については平均四〇%の大幅値上が確定。一月中には銘柄別価格も決定される予定である。

三、種子

種子についても

数量的には肥料と同様であるが価格については四〇～五〇%の大幅値上（特に豆科が大幅）の見通し

四、農薬

農薬についても

数量的には何んとか確保される見通しであるが、価格についてはご他間に洩れず二五%～以上五〇%位の物もあり、一番必要なグリン

ダイセンについては三〇%位の大

幅値上の見通し。

五、共他生産資材

これについてはお伝えする

これが生産資材の大体の情勢であるが、新年早々お伝えする話題としては余りに厳しい事ばかりで恐縮です。しかしこれが現実である以上この厳しい現実を踏えて、農協も組合員もそれぞれ対処し最善を尽さねばと心を新たにするものである。

農協法が改正される

系統金融機能の拡充強化

保証することが出来るようになつた。

(債権の委任取立)

農林中金又は信連からの委託にもとづく債権の取立が出来ることとなつた。

マル優制度の非課税限度の引上げについて

利子非課税の引上げとその早期から次の通り決定通知された。そ

うに、昭和48年12月1日以降預入された預金で改正法施行後利払期が到来するものと措置を合わせて講ずるものとする。

さきの第七十一回通常国会において、農業金融関係四法案が、いずれも原案どおり可決成立をみ、

合員当り最高限度は三〇〇〇万円以内)に限られている。

(内国為替取引)

このうち農業協同組合法の一部改正する法律については、七月三日公布、十月一日施行され、関係省令、通達も相次いで施行されました。

今回の法改正の要点は、農協金融の拡充、資金の貸付範囲の拡大、宅地等供給事業の範囲の拡大、共済規程変更手続の簡素化、農協連合会の権利義務の包括承継の五項目からなつておらず、総じて前回の組織事業全般にわたる大幅な法改正の路線を踏襲しつゝ、情勢の変化をうけて系統金融機関の拡充強化対策が、その中心となつている

具体的な取扱方法については、目下道が策定中であり、近く正式に通達されることになる。

金融関係の改正のあらましは次の通りです。

(手形の割引)

貯金残高二〇億円以上、貸出専従職員一人以上の農協に取扱が認められ、その対象は組合員(一組

(債務の保証)

国、地方公共団体、金融機関(当分の間農林中金又は信連)に対し組合員の負担する債務について

(有価証券払込金の受入れ等)

農協、信連ともに有価証券の払込金の受入れ、またはその元利金配当金の支払にかかる取扱が認められたが、その対象は原則として員内(協同会社等)に限られている

(員外貸付の規制緩和)

貸付にかかる員外利用制限の枠にかかる員外利用制限が拡大され、地方公共団体及びこれに準ずる非営利法人に対する一〇年以内の貸付、公的開発融資(産業基盤、生活環境の整備)にかかる一〇年以内の貸付等が員外貸付の制限からはずされた。

一、利子非課税限度の引上げ

(一) 昭和49年度税制改正の一環として利子非課税の限度を次のように引き上げる。

少額貯蓄非課税制度
一五〇万円→三〇〇万円

別枠国債非課税制度
一〇〇万円→三〇〇万円

勤労者財産形成貯蓄非課税制度
一〇〇万円→三〇〇万円

④ 郵便貯金預入限度額は、一五〇万円から三〇〇万円に引き上げられる。

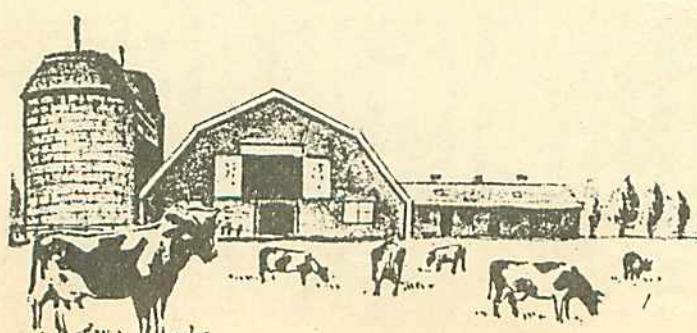
(二) 非課税限度を引き上げるための税法改正は、昭和49年度税制改正に関する法案として

提案するが、今年の年末賞与からの預入分についても非課税限度引上げの効果が及ぶよ

れた。

(余裕金運用の基準の緩和)

信連の余裕金運用対象資産として新たに株式が加えられた。



中標津農協 家畜消流センター完成する



澱粉工場に隣接して建設された家畜消流センター

販売畜が急激に増加して来ている中で、農協の家畜消流体制強化が強く望まれていましたが、このたび組合員の皆様から出荷される家畜の集荷と販売を円滑に行う為のストック基地として、農協の家

畜消流センターが、去る十一月十五日落成しました。これは、昨年澱粉工場建設時に取得した牧野約五十ヘクタールと有機物につながりをもたせ効率的な運営を図るために、澱粉工場に隣接して総工

費約一二三〇万円を投じて建設されました。

■施設の概要

◎畜舎

○構造
木造軒下ブロック
キング式

一棟 三九六m² (一一〇坪)

○収容力
成牛 十六頭 (スタンチヨン)
中挽 二六頭 (パイプストール)
幼牛 二八頭 (パイプストール)

但し、中挽、幼牛のパイプストールは取りはずし可能

○内部施設
飼料室 一室 十六m²
管理室 一室 十六m²

○附属施設
○推肥場、床コンクリート
腰ブロック 一三二m²
○尿溜 コンクリート (円筒形) 三〇m³
○バンクリーナ 土谷式
九八m³首振型一式
○バドック バイブ式 (四マス) 九〇〇m³

◎施工者
根室ブロック工業株式会社
株式会社土谷製作所

農業用資材 対策本部を設置

農協どう
報つかい
週ほ
より



道系統農協農業用資材対策本部が

昨年十二月十五日設置された。これ

は石油危機に端を発した経済環境

の激変に対処し、系統農協の總力を

を結集して国民食料の確保に必要な農業用資材や食料輸送力確保対策などを推進しようとするもの。

同日、道および札幌通産局に、こ

れらのことを要請した。

さいきん、石油需給事情のひつ

迫を背景に、農畜産物の輸送に必

要なガソリン、農畜産物加工用の重油などが、関係当局の農業用最優先の指導にもかかわらず、極端な品不足という実情にある。

農家もこれらの方々の実態に直面し、

来年以降の當農について、異常な不安全感を抱いており、このような状況で推移するならば、春の農作業に重大な支障をきたし、深刻な事態になることも心配されている

本部は、十二月から三月末ま

でに必要な各種の諸資材の確保に

ついて、つきの要請を行なった。

まず農畜産物輸送用燃料、タマ

ネギ、ニンジン、パレイシヨ (種子用、食用)、豆穀、米類、肉用

が就任した。

素牛、乳牛など道産農産物の大半

は道外に輸送している。しかし、車輌を使う場合、帰りの燃料の保

障まで求められている実情であり、チケットの券券など具体的措置を

求める。また、道内搬入の資材、食糧品などに関しても同様に配意

すること、量は搬出用三千六百キロリットル、搬入用一万四百キロ

リットル、道内輸送用四千五百キ

ロリットル。また、テンサイ加工 (製糖)、

乳製品クラーステーション、食

肉加工、などに必要な燃料二万二千九百キロリットルの確保。そし

て毎日の集乳や農産物の搬出に必要な除雪用燃料と、春耕期用の燃

料も早く確保すること。さらに温

床用資材として、農用ボリフィルム二千七百六十七万平方メートル

農用ビニールフィルム五百五十万

平方メートルの確保を要請する。

同本部は、北農中央会、ホクレ

ン、北信連、共済連、全農札幌支

所、農林中金札幌支所で構成され

ている。本部長には早坂中央会会

長、副会長には太田ホクレン会長

1月・2月・3月

天気予報

札幌管区気象台

<気候概況>

1月から3月まで向こう3ヶ月間の北海道の天候は、次のように経過します。

<概況>

厳冬期(1~2月)の寒気の吹き出しが、西日本でより強く、北日本の寒さは平年並ないしやや弱い傾向があるでしょう。しかし、1月下旬から2月上旬は寒さの厳しい期間で、また雪が降りやすいでしょう。

3月初めはまだ寒さが残りますが後半は温暖となるでしょう。

<月別予報>

<1月>初めは冬型の気圧配置で寒い日がありますが長続きせず、冬としては比較的しのぎやすい日が多くなるでしょう。しかし、低気圧が通るときには道東でも雪が降る見込みです。下旬には北海道付近で低気圧が発達し、荒れ模様の日があり、その後、冬型の天候となり、局地的に大雪のおそれがあります。気温は寒暖の変動が大きいが、平均気温は並みないしやや多い。

<2月>前半は冬型の気圧配置が続くでしょう。半ばころ、発達した低気圧が日本海を北上し、荒れ模様となります。その後温暖な日が多くなるでしょう。寒暖の変動はなお大きい見込みだが、平均気温は並みないしやや高い。雪の量は、局地的に多い所もあるが、並みないしやや少ない。

<3月>上旬は冬型の気圧配置が続き、寒さが残りますが、半ばころから冬型は弱まり、大陸の高気圧が北にかたよって張り出すので晴れの日が多くなるでしょう。また、下旬には移動性高気圧も現われるようになり、温暖な日が多くなる見込みです。平均気温は並み。雪や雨の量は並みないしやや少ない。

酪農生産の停滞要因——と——その対策事業

北海道酪農協会

(要 因)	(対 策 事 業)
1 乳価の低迷 (酪農利潤の低迷)	適正な保証乳価の設定 生乳道外供促進事業 高蛋白牧草生産利用促進事業.....(新) 飼料用作物生産振興対策事業.....(新) 飼料用麦生産利用促進事業.....(新)
2 濃厚飼料費の増大 (配合飼料価格の高騰等)	飼料用麦生産振興対策事業.....(新) 飼料用とうもろこし生産振興対策事業.....(新) 粗飼料流通促進モデル事業 大型長期低利資金制度の確立.....(新) 緊急酪農経営拡大促進対策事業.....(新)
3 規模拡大意欲の減退 (負債累増、追加投資額増大)	負債整理対策事業 新酪農村建設事業 農業公社牧場設置事業 農業構造改善事業 総合施設資金制度 大型農業機械等導入事業 バルククーラー等設置促進事業.....(新)
4 後継者及び労働問題 (後継者の定着不安、労働の過重)	生乳搬出路整備事業 農漁村動力電気導入事業 酪農ヘルパー設置モデル事業 農村花嫁推進事業 草地開発事業 農業振興地域整備に関する法律の改正.....(新)
5 飼料基盤の拡大制約 (開発適地の減少、地価の高騰)	国・道有林等の活用促進 放牧外部寄生虫駆除促進事業.....(新)
6 乳牛能力の伸び悩み (経営技術と乳牛改良進度の停滞)	経営技術の普及指導徹底 乳牛能力検定事業 優良乳用種雄牛選抜事業.....(新)
7 乳牛の流出 (乳牛価格、牛肉価格の高騰)	緊急酪農振興特別奨励事業.....(新) 乳用牛資源確保対策事業.....(新)
8 酪農村の過疎化 (へき地の離農化)	緊急酪農総合対策事業 水田飼料作推進家畜導入事業 農村施設総合整備モデル事業 農村施設等総合整備事業 振興山村農林漁業特別開発事業
(参考) 生乳取引きの不安定化(生乳の衛生問題) 特に生乳に対する細菌数についての法的規制の徹底	緊急生乳衛生対策事業.....(新) 乳質改善向上に対する普及指導の徹底



中標津農協婦人部結成二十周年記念大会

青年部
農協婦人部だより

好評の青年部ヘルパー 婦人部で結成二十周年大会

中標津地区労委員と農協青年部

役員の交流懇話会

四日
十一月十三・十

第二回根釣地区農協青年部大会

スローガン

◎目標を明確にし末端活動を活

◎経営の実態を把握し經營改善

◎目標を明確にし末端活動を活

◎組合員資格を取得し権利と義

務を遂行しよう。

十二月一日

八名が農協會議室に集り、加工

原料乳価格の内訳説明と生産に

について話し合い、飲用乳との違

いも認識してもらひ、青年部員

が當農にたずさわる中での実感

を述べ、地区労委員の質問に答

え交流を深めた。

特に、乳価交渉時期の地区労の

バックアップと牧草時期の援農

については、適期に

検討会をもつことに

なった。

組合員三戸からへ

ルバーの派遣申請があり、青年部員が延十四名協力されました。
「頼む人、頼まれる人」の相互の信頼と、青年部員のご家族のご理解によって、この制度もスムーズに進展されております。

今後共、よろしくお願ひします

十一月二十九・三十日

第二十二回全道農協青年部大会

が、定山渓ホテルで全道から盟友約六百名が参加して開かれた

結局「學習活動を再点検し、

活動を盛り上げる」など九項目

を決議、実践に取り組むことを誓った。

千葉清正・山本清・山川康の三君が出席

予定行事 一月下旬

中標津農協婦人部組織結成二十周年記念大会

組織設立以来二十周年を迎えた

成人農協婦人部としての祝いと

今後ますますの協同活動の実践

と前進をはかり、記念大会が開かれた。村田町長をはじめとする

祝辞と、活動発表、記念講演

部員の作品展示と行事も多彩に

わたり、それらの進行は全部、

実行委員の婦人部員によつて行

なわれました。部員の参加も百二十名と多く、この日を祝い、

二十名と多く、この日を祝い、

和やかな雰囲気の中にも意義深

い一日でした。なお大会の中で東武佐婦人部が表彰され、次

各氏に児玉組合長から感謝状がわたされた。

安達いその・渡辺シマ・田中

マツノ

ルバーの派遣申請があり、青年部員が延十四名協力されました。

第十三回根室地区農協婦人部大

会

根室管内農協婦人部員百五十名

が養老牛に集り各分科会で熱

いこもつた討議がなされ、身近

かな問題から解決すべく、申し

合せをし、次年度の再会するま

で農協婦人部の進めをすること

を約し大会をとじました。

中標津農協婦人部員は三十四名

参加

十二月十二日

中標津農協婦人部組織結成二十周年記念大会

組織設立以来二十周年を迎えた

成人農協婦人部としての祝いと

今後ますますの協同活動の実践

と前進をはかり、記念大会が開

かれた。村田町長をはじめとする

祝辞と、活動発表、記念講演

部員の作品展示と行事も多彩に

わたり、それらの進行は全部、

実行委員の婦人部員によつて行

なわれました。部員の参加も百

二十名と多く、この日を祝い、

和やかな雰囲気の中にも意義深

い一日でした。なお大会の中で東武佐婦人部が表彰され、次

各氏に児玉組合長から感謝状が

わたされた。

安達いその・渡辺シマ・田中

創作コラム

週報農協
ほつかいどう
より



保証乳価

改定要求運動を顧みて

中央会畜産指導部長 加葉田 剛吉

キロ当たり六円以上以上の引き上げをめざして、七月から開始した保証乳価改定要求運動は、ようやく十一月二十日最終結果をみた。実質的には、九月以降三ヶ月間の加工原料乳に対して、キロ当たり三円二十銭程度の特別奨励措置と、更に、乳価算定方式の改正に着手することの確約を得たことが、ようやくあげた成果であつたが、当初の要求に比べて、いせんとして大きな不満が残るものの、前例のない要求運動であつただけに、ますますのものと考えられる。

道民の船に参加して 一ヶ月余東南アジアを観察



ヒドイ生活という表現しかできないほど、また、香港の難民アパートには、八畳間位のところに多勢が入り込み、臭氣、ネズミと衛生面が悪く、国連が建てたアパートで十階以上もあるが家屋内は全く想像以上であり、私達の生活がいかに恵まれているかを感じさせられました。

松田吉正（西当幌）さんが第一回道民の船上に参加し十二月下旬に帰町し、その印象を次のように語ってくれました。

「十一月末に小樽を出港し、韓国・香港・タイ・シンガポール・フィリピンの五ヶ国を訪問、各国の現況と青年活動を知り、また四百六十九人の参加者の交流の中から青年活動等について討論を重ね、研修してきました。タイの水上生活者のドロ川での特異な生活は、以前に映画で知つてはいたが、実際現地で見ると、

農民に奇異の感を与えたこと、そして、われわれ農協系統の要求の真意が、末端まで徹底していないからことと②大衆動員方式をとらず農協酪対本部の責任で特に主産地区酪対組織の協力を得て、重点的に波状攻勢を行ってきたこと③畜産振興審議会酪農部会の開催要求に対する、委員懇談会の開催にこぎつけたものの、一方的な農林当局の再改定の要なしとする意図に押し切られた格好となり、やむなく政治的解決に求めざるを得なかつたこと④政治的解決にあたつては、本道選出国会議員の絶大な理

共済組合では昨年暮に組合員全員に対してのアンケート調査を依頼しましたが、このほどその回収がほぼ終了しました。

これは共済連絡員の協力を得て行なったもので、連絡員の方々には、年末年始で多忙な折にもかかわらず、骨身をおしますご協力いただきましたこと、心より感謝申上ります。

このアンケートは、根釘管内の共済組合員全員について行なったもので、一月末にはその集計も終了する予定です。

共済組合の現状と将来について組合員の皆さんとどのように見て、この経験をこんごの活動に参加したのですが、「五ヶ国訪問で大いに視野を広げることができ、この経験をこんごの活動に生かしたいと意欲を見せていました。

★表紙の写真ですが、今年はこの周辺でみられる「鳥」をテーマにして、それぞれの季節に私達の目を楽しませてくれる生態をシリーズで、この一年間のせていきたいと思います。この写真には写友会の会員である鈴木太三さん（歯科医）の協力を願うことにし



★組合員のみなさま、明けましておめでとうございます。「組合だより」の新春号をおとどけています。

★さて、昨年は中東紛争に端を発しての石油危機のショックを受けたことそれが解決されたわけではなく、諸物価の値上がり等で多難な年となりそうです。

★さて、今号では恒例により、農協、共済の両組合長より年頭の辞をいただきました。また昨年の一年の保証乳価の改定要求運動などの状況を、「週報農協ほつかいどう」から抜粋してのせてみました。

★また今回は、安江朝子さんの短歌、俳句をのせて「創作コラム」欄をもうけてみました。できればこれも続けていきたいと思いますので、皆さん協力を願つておきますからよろしく頼みます。

★表紙の写真ですが、今年はこの周辺でみられる「鳥」をテーマにして、それぞれの季節に私達の目を楽しませてくれる生態をシリーズで、この一年間のせていきたいと思います。この写真には写友会の会員である鈴木太三さん（歯科医）の協力を願うことにし